

# 第20回 地理情報システム学会 学術研究発表大会

期日：2011年10月15日（土）

2011年10月16日（日）

場所：鹿児島大学・郡元キャンパス

- \* 大会プログラム概要
- \* プログラム（セッション発表/ポスターセッション）
- \* 公開特別セッション（無料）のご案内
- \* 機器展示案内
- \* 会場のご案内（全体図）

懇親会：10月15日 18:30～20:30

場所：城山観光ホテル

会場へのシャトルバスは鹿児島大学正門前から、18:10発予定

参加受付は正午過ぎから受付、

または18:00過ぎから直接会場で承ります。

## 大会プログラム概要

10月15日(土)								
	会場A (101)	ポスター会場 (101西)	会場B (104)	会場C (105)	会場D (201)	会場E (202)	会場F (203)	
9:00-10:40	特別セッション(1) :マイクロジオデータの普及と利活用	ポスター展示	防災(1)	都市・地域解析(1)	経済(1)	自然・環境(1)	データ精度(1)	
10:50-12:30	特別セッション(2) :人文フィールドGIS の現在・未来		防災(2)	都市・地域解析(2)	経済(2)	自然・環境(2)	データ精度(2)	
昼休み ポスターセッションコアタイム(12:30-14:00)、会社説明コーナー(13:15-13:45)の開設								
14:00-16:00	特別講演: 日本大学 高阪宏行教授 (元GIS学会会長) Martin Clarke 英国リーズ大学教授	ポスター展示						
16:10-17:50	特別セッション(3) :初等中等教育におけるGISの活用:地理情報システム学会優良事例表彰		防災(3)	都市・地域解析(3)	経済(3)	自然・環境(3)	GIS理論	
移動 (懇親会場へのシャトルバスは、鹿児島大学正門前 18:10発)								
18:30-21:00	懇親会(会長挨拶、表彰式等)							

10月16日(日)							
	会場A (101)	ポスター会場 (101西)	会場B (104)	会場C (105)	会場D (201)	会場E (202)	会場F (203)
9:00-10:40	特別セッション(4) :文部科学省「安全・安心科学技術プロジェクト」:時空間処理と自律協調型防災システムの実現	ポスター展示	防災(4)	地域・土地利用分析	移動・経路探索	歴史・考古	データ取得(1)
10:50-12:30	特別セッション(5) :東日本大震災における防災GIS分科会を中心とした支援活動		情報共有・参加型GIS	人口・社会構造分析	ナビゲーション	教育	データ取得(2)
昼休み 会社説明コーナー(13:00-13:30)の開設							
13:30-15:10	特別セッション(6) :官民協働クラウド型GISによる被災地支援	ポスター展示	自治体GIS(1)	施設配置(1)	交通・ネットワーク	可視化	データベース構築(1)
15:20-17:00	特別セッション(7) :FOSS4G分科会 震災時のオープンデータ・オープンソースによるクライスマッピング		自治体GIS(2)	施設配置(2)	環境・心理	景観	データベース構築(2)
17:10-17:40	閉会式(優秀発表賞の表彰を含む)						

※ハンズオンセミナーは、第2日目(日)の9:00-12:30まで、会場は306です。



- 10月16日 10:50-12:30 「B-5 情報共有・参加型GIS」 司会:高崎 賢一  
 1 “まちづくり”へのGISからの距離の手法に関する考察－新潟市を例として－  
 2 地方自治体でのGISの実態と課題－その現状と今後の展望－  
 3 附則第6条による文化財保護分野における一考察－イギリスを例として－  
 4 地域と行政をつなぐGIS ～安心・安全なまちづくりへのコンサルティング～
- 10月16日 12:30 「C-5 人口・社会情報分析」 司会:相 尚貴  
 1 1830年にさかのぼる本の流域における歴史の変遷－東京と京都との比較  
 2 長期的な人口分布と時代との比較  
 3 河川流域におけるワードカラーの観察－河川環境、水質、水文、水循環、水資源、水利用、水循環、水土保持、水害等の比較  
 4 日本の市町村位置での空間分析  
 5 陕西西二路における住民登録者の社会的属性と性別による空間的解析
- 10月16日 13:50-14:30 「D-5 ナビゲーション」 司会:桑原 寛  
 1 和光歩行ナビゲーションにおける目的地の位置情報表示方法に関する研究  
 2 道路網上におけるO-GPS導入実験  
 3 商品位置データベースによる地図ナビゲーションの開発  
 4 ODEMネットワークを使用した空間的分析
- 10月16日 14:30-15:10 「E-5 教育」 司会:矢野 祐司  
 1 アカデミック地図情報サポート～クラウド～地域の情報資産を守り活性化する研究者ネットワーク  
 2 歩行度数測定によるGPSを利用した地図ナビゲーションの実現  
 3 太陽光発電のボトルネック問題にむけた空中写真による住宅地図形状の抽出  
 4 ファーアンド位置の形状を考慮したデジタルシティの構築  
 5 ステレオ空中写真による高速DSM抽出システムの構築に向けた研究
- 10月16日 15:30-15:50 「B-6 空気清浄装置(1)」 司会:石井 優光  
 1 金盤地図情報を利用した地理空間情報技術における個人と自体との連携手法と課題  
 2 東日本大震災におけるGISの活用  
 3 地図更新に対する品質の確保とその課題～被災地と被災地周辺の空間データと品質検証～  
 4 2011年東日本大震災中の地図空間データの品質評価  
 5 欧州における国レベルでの土地評価技術に関する基礎的研究
- 10月16日 15:50-16:30 「C-6 施設配置(1)」 司会:重喜 三浦  
 1 三輪沼加工場における水道加工、流通施設の最適化に関する研究  
 2 植栽ネットワークの施設を統合する施設配置問題：飲食店と元販売店を例として  
 3 GISによる品質のアルゴリズムを用いた農地地図の施設配置の評価  
 4 東京23区における薬局等の新規店舗の新規開拓と既存店舗の競争拡大  
 5 患者数を考慮した医師の地域的分布とその特徴
- 10月16日 16:30-17:10 「D-6 交通・ネットワーク」 司会:谷尾 吉幸  
 1 ブローパターンデータによる自動車旅行時間のばらつきの時間空間分布分析  
 2 植栽ネットワーク分析手法による道路空間の分析  
 3 首都圏内外における公共交通の成立条件  
 4 東京23区における薬局等の新規店舗の新規開拓と既存店舗の競争拡大  
 5 次世代の市町村情報サービスの実現に向けたコロケーションネットワークの可視化
- 10月16日 17:30-18:10 「E-6 地データベース構築(1)」 司会:岩崎 木曾  
 1 空間情報を用いた全国バスネットワーク整備に関する研究  
 2 地球地図製造のための国土地盤部の取組  
 3 地面データによる駅周辺におけるスマートフォン向けのシナジー的な観光情報サービス  
 4 利用空間の効率的な位置情報の付与と手法の検討  
 5 道路基盤地図情報に向けた電子の利用ニーズの調査
- 10月16日 18:30-19:10 「F-7 施設配置(2)」 司会:渡部 大輔  
 1 エネルギー資源の海上輸送におけるコスト削減手法の分析  
 2 地理情報システムによる施設配置手法として－鳥取県を例として－  
 3 人口減少時代に向けた地域分類に基づくGIS系システム開発手法  
 4 中心都市と郊外都市における高齢者の居住実態の差異 東京23区セトモ都市の比較  
 5 地域特性が高齢者の都市内移動に及ぼす影響－千葉県柏市を例にして－
- 10月16日 19:30-20:10 「G-7 環境・心理」 司会:猪八重 拓郎  
 1 無駄運搬と周辺の都市空間のイメージ  
 2 アクセスアップから描く渋谷の空間認識  
 3 情報収集による空港地図の理解力と行動実験－  
 4 都市内を移動し友人と会う行動の理解力と都市景観に対する研究－三鷹駅周辺でのさまよい行動実験－
- 10月16日 20:30-21:10 「H-7 環境・心理」 司会:鈴木 幸一  
 1 道路地図における風景評価手法  
 2 キャンバスGISの構築－生活環境の向上を目指して－  
 3 提携特性からみた河川整備  
 4 ネットワーク空間に基づく景観資源の把握  
 5 駐留資訊における心理的評価と都市景観への影響－
- 10月16日 21:30-22:10 「I-7 環境・心理」 司会:佐藤 伸一  
 1 Mobile Mapping Systemによる広域環境モニタリングの実証研究  
 2 電子国土Webシステムによる景観資源の調査－山野 茂・天野 嘉春・鶴間 康  
 3 地図上への写真壁システムにおける自動色変換機能～カラーバイナリへの取り組み～  
 4 コミュニティによる地図作成の取り組みを例で－  
 5 高速道路のGISによる地図作成
- 10月16日 22:30-23:10 「J-7 環境・心理」 司会:鈴木 伸一  
 1 WebGISを用いた水資源地域における水文特性化手法開発  
 2 住民の使いやすさ子どもの遊び場地マップの開発－自然・暮らし・水辺・南宮 順  
 3 DNSIS-EXでの自治体業務の実現－一宮 則也・一宮 勝也・鈴木 美  
 4 GISを用いた旧石器時代から現代までの分布の現状バーンの研究  
 5 情報館による個人行動情報の統合と利用に対する社会的妥当性  
 6 GEDACH GIS:ボランティアによる歴史文化遺産の復元支援～町内会による空間情報コレクション～  
 7 GPS Tracking Data Processing Through Network and Analysis of Positional Accuracy and its Relationship to Environmental Information  
 8 商業集積地における業種別店舗および事業所の営業面面積と人の時空間分布情報の可视化  
 9 GPSを用いたインフラマップの作成  
 10 ラブレットPCを用いたインフラマップを空間データ収集  
 11 GISを活用した廿日市市の地名に由来する屋号の研究  
 12 洪城スケールでの河川流入有機物質の推定手法の開発  
 13 ドローンの適正運用に向けたドローンマップの作成  
 14 種々の制約条件を考慮した地図データへのドローンマップの作成  
 15 鹿児島市を中心とした地図作成の現状分析  
 16 QGISサイトを用いた地図の作成用による耕地面積と耕地面積の現状  
 17 東日本大震災の津波浸水地の土地利用地図の現状  
 18 メッシュデータの作成用による耕地面積と耕地面積の現状  
 19 時を経る地図電子化地図の現状  
 20 Personal LBSを利用した食料品アコムシティの設計と実践  
 21 犯罪ネットワーク分析手法による犯罪の発生地の分析  
 22 東京都のエフアラウド開拓による地図の現状  
 23 17世紀京都で作成された測量図の現状  
 24 Twitterデータ収集・地図センサシステム  
 25 地球地図並のための地理院の現地調査  
 26 地球地図並のための地理院の現地調査  
 27 地球地図並のための地理院の現地調査  
 28 総合的なコンピューターシステムによる水資源実水の対応方法の検討  
 29 モバイルデータに基づく地図表示の実現  
 30 GISによる鹿児島市沖縄地盤の浸透性地盤の現状  
 31 犯罪発生地点の確認の要因－東京23区での事例分析  
 32 次世代の都市情報サービスの実現に向けたデータベース構築  
 33 都市部での分布の現状  
 34 北京市における温泉の新規開拓地の現状  
 35 鉄道網におけるモバイルエコセントリック・ルート・プランの提案  
 36 フィールドワークによる複数の地図情報を用いた地図空間情報の共同整備  
 37 地理空間情報の可視化による空間地図における空間地図の現状  
 38 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 39 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 40 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 41 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 42 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 43 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 44 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 45 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 46 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 47 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 48 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 49 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 50 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 51 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 52 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 53 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 54 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 55 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 56 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 57 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 58 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 59 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 60 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 61 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 62 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 63 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 64 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 65 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 66 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 67 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 68 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 69 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 70 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 71 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 72 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 73 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 74 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 75 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 76 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 77 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 78 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 79 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 80 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 81 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 82 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 83 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 84 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 85 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 86 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 87 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 88 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 89 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 90 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 91 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 92 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 93 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 94 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 95 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 96 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 97 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 98 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 99 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 100 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 101 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 102 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 103 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 104 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 105 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 106 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 107 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 108 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 109 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 110 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 111 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 112 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 113 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 114 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 115 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 116 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 117 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 118 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 119 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 120 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 121 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 122 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 123 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 124 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 125 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 126 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 127 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 128 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 129 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 130 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 131 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 132 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 133 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 134 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 135 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 136 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 137 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 138 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 139 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 140 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 141 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 142 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 143 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 144 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 145 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 146 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 147 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 148 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 149 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 150 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 151 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 152 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 153 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 154 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 155 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 156 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 157 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 158 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 159 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 160 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 161 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 162 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 163 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 164 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 165 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 166 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 167 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 168 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 169 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 170 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 171 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 172 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 173 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 174 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 175 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 176 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 177 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 178 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 179 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 180 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 181 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 182 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 183 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 184 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 185 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 186 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 187 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 188 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 189 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 190 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 191 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 192 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 193 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 194 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 195 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 196 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 197 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 198 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 199 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 200 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 201 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 202 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 203 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 204 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 205 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 206 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 207 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 208 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 209 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 210 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 211 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 212 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 213 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 214 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 215 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 216 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 217 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 218 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 219 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 220 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 221 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 222 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 223 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 224 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 225 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 226 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 227 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 228 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 229 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 230 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 231 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 232 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 233 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 234 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 235 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 236 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 237 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 238 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 239 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 240 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 241 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 242 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 243 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 244 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 245 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 246 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 247 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 248 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 249 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 250 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 251 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 252 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 253 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 254 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 255 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 256 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 257 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 258 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 259 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 260 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 261 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 262 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 263 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 264 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 265 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 266 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 267 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 268 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 269 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 270 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 271 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 272 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 273 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 274 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 275 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 276 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 277 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 278 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 279 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 280 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 281 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 282 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 283 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 284 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 285 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 286 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 287 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 288 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 289 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 290 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 291 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 292 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 293 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 294 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 295 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 296 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 297 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 298 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 299 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 300 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 301 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 302 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 303 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 304 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 305 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 306 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 307 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 308 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 309 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 310 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 311 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 312 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 313 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 314 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 315 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 316 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 317 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 318 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 319 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 320 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 321 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 322 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 323 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 324 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 325 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 326 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 327 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 328 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 329 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 330 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 331 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 332 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 333 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 334 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 335 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 336 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 337 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 338 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 339 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 340 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 341 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 342 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 343 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 344 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 345 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 346 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 347 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 348 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 349 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 350 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 351 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 352 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 353 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 354 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 355 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 356 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 357 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 358 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 359 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 360 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 361 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 362 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 363 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 364 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 365 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 366 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 367 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 368 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 369 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 370 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 371 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 372 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 373 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 374 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 375 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 376 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 377 地理空間情報の可視化による空間地図の現状  
 378 地理空間情報の可視化

# GISA 一般社団法人 地理情報システム学会

## GIS 学会大会 公開特別セッションのご案内

このたび、地理情報システム学会では鹿児島大学郡元キャンパスで開催する学術研究発表大会において、以下5つの特別セッション(5 テーマ)を学会会員以外、広く県民に無料で公開することになりました。これらのセッションは、GIS を活用した東日本大震災の被災地支援、防災、教育、安全・安心など幅広く、市民や関係者にとって興味のある内容です。無料でどのセッションもいくつでも参加できます。奮ってご参加ください。

学術研究発表大会実行委員会

### 記

主 催:一般社団法人 地理情報システム学会

後 援:鹿児島県、南日本新聞社、NPO 法人かごしまGIS・GPS技術研究所

月 日:平成 23 年 10 月 15 日(土)、16 日(日)

会 場:鹿児島大学郡元キャンパス 農学部共通棟 101 教室 (全セッションの会場)

申込み:事前申込みは不要です。当日、会場に直接おいでください。満員になり次第締め切ります。

参加費:無料(会場入口の一般参加者用の受付で参加登録の手続きをお願いします。)

問合せ先:NPO 法人かごしまGIS・GPS技術研究所(Tel:099-821-5034、Eメール:[npo@kinggt.org](mailto:npo@kinggt.org))

各セッションの内容:

#### ●特別セッション(3)

テーマ:初等中等教育における GIS の活用:地理情報システム学会優良事例表彰

日 時:10 月 15 日(土) 16:10~17:50

概 要:日本学術会議からの提言や中学校・高等学校の学習指導要領改正を受け、初等中等教育現場において GIS を実践的に活用した授業の展開が求められている。そこで、GIS 学会では、先導的な GIS の取組みを授業実践している教員を対象とする表彰制度を創設し、GIS の普及・展開の契機としていく。

本ワークショップでは、学会優良事例表彰の受賞者(3 賞 3 名)にそれぞれの事例を報告していただき、初等中等教育における GIS の教育実践を議論する。

オーガナイザー:矢野桂司(立命館大学)

#### ●特別セッション(4)

テーマ:文部科学省「安全・安心科学技術プロジェクト」:時空間処理と自律協調型防災システムの実現

日 時:10 月 16 日(日) 9:00~10:40

概 要:文部科学省「安全・安心科学技術プロジェクト」(平成 20~22 年度)は、地域の安全・安心に関する情報システムの社会実装を目指した研究 3 課題で構成された。「時空間処理と自律協調型防災システムの実現」は、自治体や地域コミュニティの GIS を対象に、大規模災害で通信や電力が途絶した状況でも、初動時から確実に運用できる防災システムとして、ネットワークに依存しない自律稼動を前提に、情報連携もできる構成が特徴。各種情報を、時空間の位置に関連付けて管理する時空間データベースシステムに、リモートセンシングや観測車両による道路計測、アドホック

通信を組み合せて、被災時の情報連携の効率化を図った。平時の自治体業務システムと一体化して、従来システムから維持・運用コストを削減し、地域の関係者が実装と維持・拡張を行える運用方法を実証。罹災関連業務はワンストップサービス化しており、東日本大震災の復興支援にも使われている。

オーガナイザー：角本 繁（東京工業大学）

#### ●特別セッション(5)

テーマ：東日本大震災における防災 GIS 分科会を中心とした支援活動

日 時：10月16日(日) 10:50～12:30

概 要：3月11日に発生した東日本大震災は未曾有の被害をもたらした。GIS 学会の防災 GIS 分科会では、阪神・淡路大震災、中越地震での支援活動の経験を通じて得た知見やネットワークを用いて支援活動を行っている。そこで、これまでに行った以下の活動について報告し、災害対応での GIS の役割について議論する。

・栃木県那須烏山市役所での罹災証明・被災者支援事業

・ワンストップサービスシステムの構築

・厚生労働省保健指導課の地図作成支援活動

・県外避難者受入に関する時空間変化調査活動

オーガナイザー：畠山満則（京都大学防災研究所）

#### ●特別セッション(6)

テーマ：官民協働クラウド型 GIS による被災地支援の実践事例を中心として～

日 時：10月16日(日) 13:30～15:10

概 要：自然災害による被災地の応急対応、復旧・復興のためには、多様な機関による協調連携が必要である。特に、被災地支援を行うには災害情報の共有が大切で、互いに情報が利用できる「相互運用性」があることと、そのための情報プラットフォーム、情報インフラとしてのクラウド環境が不可欠である。東日本大震災において、(独)防災科学技術研究所では、クラウド環境上で、官民協働により、災害リスク情報プラットフォームを活用した情報支援を実施した。特に、災害ボランティアセンターの運営支援、被災自治体の罹災証明発行、がれき撤去管理、災害アーカイブを実践している。本セッションでは、実践事例を紹介しながら、その有効性と課題について、会場の参加者とともにディスカッションする。

オーガナイザー：長坂俊成（独立行政法人防災科学技術研究所）

#### ●特別セッション(7)

テーマ：震災時のオープンデータ・オープンソースによるクライシスマッピング

日 時：10月16日(日)15:20～17:00

概 要：3月11日に発生した東日本大震災では、今までの震災で活躍した実務向けの GIS 利用とは異なり、一般市民自らが情報を発信し、その情報を集約しつつ複数の情報を重ね合わせるオープンなクラウドソースの活用と、オープンスタンダードな技術を組み合わせた相互運用性によっていくつものコラボレーションが生まれた。阪神・淡路大震災や新潟県中越沖地震から今回の震災までに GIS 活用がどのように変わったか。本セッションでは、オープンデータ・オープンソースを軸に、それぞれの立場で震災に関わった方々に登壇いただき、活動の内容や具体的な課題を報告するとともに、将来に向けて議論を深めたい。

オーガナイザー：古橋大地（東京大学空間情報科学研究センター）

## 大 会 機 器 展 示 案 内 (受付順)

### 【 株式会社数理システム 】

展示： NUOPT (ニューオプト)

最適化ソフト NUOPT と地理情報システムのシームレスな連係による、施設配置問題や配送ルーティング問題等のデモンストレーションをご用意しています。

数理システムでは最適化ソフトのみならず統計・データマイニング・シミュレーションのパッケージの開発も行っております。当日は数理科学とコンピュータサイエンスの融合による数理システムのパッケージ・導入事例等もご用意致します。是非ともお立ち寄り下さい。

### 【 株式会社古今書院 】

展示： 『GIS と地理空間情報』『図解 ArcGIS Part3』ほか GIS 関連書籍

GIS 書籍の発行点数ナンバー 1 の出版社です。本学会の学術誌『GIS－理論と応用』の発売元にもなっています。今年も ArcGIS ver. 10 を用いた地域分析手法を解説した『GIS と地理空間情報』(橋本雄一編) や『図解 ArcGIS Part3 ジオデータベース入門』(川崎昭如編著) など新刊が続々登場。GIS ビギナーからミドルユーザまで、利用目的に応じた数々の書籍を展示し、すべて 1 割引で販売します。

### 【 オートデスク株式会社 】

展示： Autodesk Infrastructure Modeler (参考出品)

まちづくりの企画検討を支援する新製品 Autodesk Infrastructure Modeler を参考展示します。復興・防災計画や大規模開発など、都市計画の初期段階のコンセプトデザインツールとして活用できます。

- ・ CAD データ、GIS データ、台帳データなどの既存データを 3D 化し都市の現状を「見える化」
- ・ 複数のプランを 3 次元で視覚化することで、関係者間の意見調整から合意形成を支援
- ・ 計画検討結果のモデルをそのまま設計 CAD で再利用

### 【 FOSS4G 分科会 】

展示： QuantumGIS GRASS OpenCafeSystem OpenLayers

文部科学省宇宙利用促進調整委託費へ衛星利用の裾野拡大プログラムの委託研究『FOSS4G を活用した衛星データ利用のためのオープン・リソースの構築』の中間成果展示、配布を中心に地理空間情報に関するオープンソースソフトウェアの実演を行います。

### 【 特定非営利活動法人かごしま GIS・GPS 技術研究所 】

展示： 1 「農振農用地管理システム」 / 2 「Web 型調査点検管理システム」

1/農政業務における更なる業務の高度化にお応えするために、自治体所有の地番図情報、農地基本台帳等の農業の属性情報をリンクさせ、地図と台帳を総合的に管理できる「農地地図情報システム」。遊休農地の情報を行政の HP を利用し、耕作希望者へ農地情報の提供を行い、農地の再利用を促進する「農地バンク」。これらのシステムを駆使することにより、農業のマスタープランとなる農業振興地域の全体見直し、遊休農地の耕作斡旋等の農政業務を支援致します。

2/調査箇所の点検報告等を Web で管理できるシステムです。GIS の部分は国土地理院の電子国土を利用しています。点検写真のアップロード・点検報告等を行える。入力情報は即座に反映され、ユーザ間で情報を共有できます。

### 【 ESRI ジャパン株式会社 】

展示： • ArcGIS 10 • ArcGIS データコレクション 2011

画像や空間解析がさらに強化され、より速く、より使いやすくなった ArcGIS10 を展示いたします。ArcGIS Desktop 製品の他、ArcGIS すぐに利用できる加工済みのデータ製品(スタンダードパックなど)もご紹介します。これまで以上に空間解析を活用した教育、研究などに利用できる最適なソリューションを提供します。

### 【 株式会社インフォマティクス 】

展示： 空間情報システム SIS Ver7.1

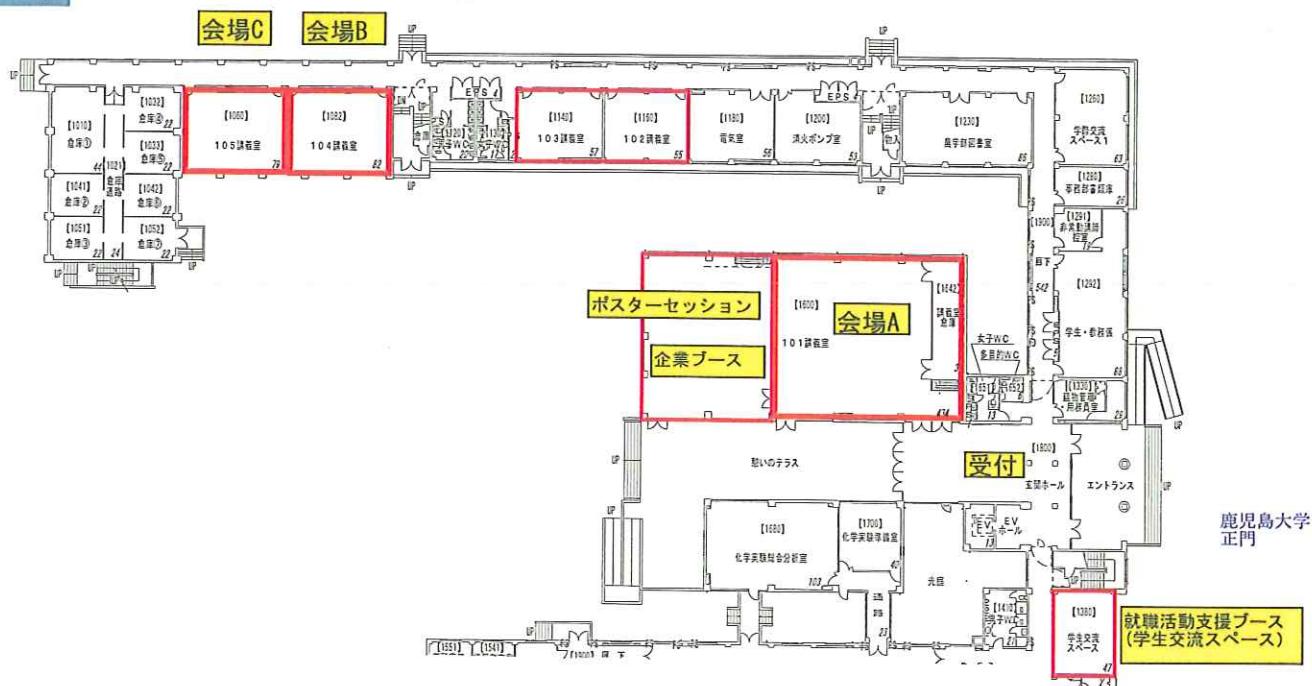
株式会社インフォマティクスの汎用 GIS ソフト「空間情報システム SIS」最新バージョン (Ver7.1) と SIS ベースの各種アプリケーション、モバイル向けアプリケーションを展示します。

【パンフレット・コーナー】 無料配布のパンフレットを置いてあります。お立ち寄り下さい。

# 農学部共通棟(旧1号館)

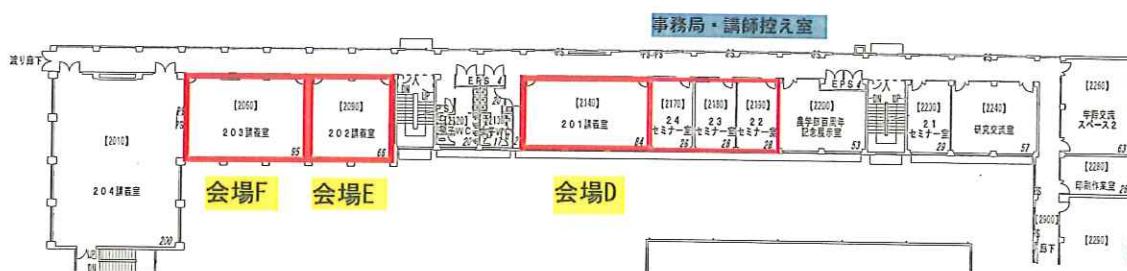
共通棟 1階

## 【会場案内図】



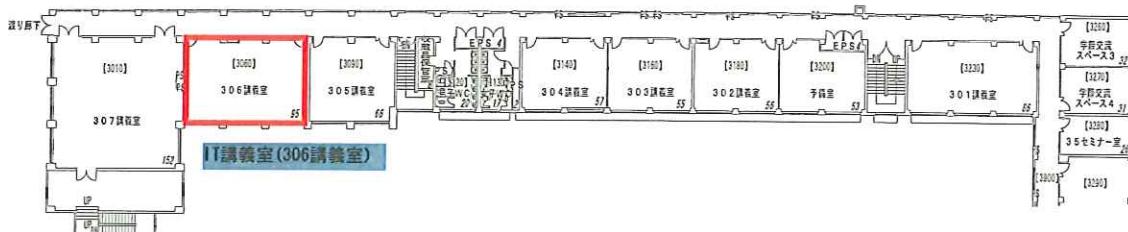
鹿児島大学正門

共通棟 2階



共通棟 3階

## ハンズオンセッション



## 【構内図】

